

議会改革度調査 2018 において、 2年連続全国で6位になりました。

全国の地方議会の議会改革度を調査する早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査 2018」において、桐生市議会が昨年度に引き続き全国で第6位という大変高い評価をいただきました。

この調査は、全国の都道府県議会や市区町村議会を対象に、早稲田大学マニフェスト研究所が2010年から毎年調査しているものです。この調査の趣旨は、全国の議会改革がどのような状況・傾向にあるのか確認の指標とすること、また、議会自身が改革度を数値で把握することにより自己評価や改善を行うことです。この調査では、議会が果たすべき役割として、(1) 情報共有（本会議や委員会などの議事録や交際費・視察結果の公開・検証）、(2) 住民参加（傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の聴取）、(3) 議会機能強化（議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況）の3つの柱として、それぞれの改革度合を数値化し、ランキング化しています。



政策研修会



議会モニター説明会

今回の調査で、桐生市議会は前年度の順位をキープして今年度も第6位となり、2年連続のトップ10入りを果たしました。特に3つの柱うち(3) 議会機能強化については、個別順位で全国第5位となっております。これは、PDCAサイクルに基づく議会基本条例をはじめとした議会改革の検証、また、議決事件の追加や議会モニター制度の導入、常任委員会の所管事務調査に専門的知見を活用して議会全体としての当初予算要望書を市長に提出するなどの取り組み

が大きく評価されたものと思われます。その他にも、正副議長選挙の立候補制や市民アンケートの実施などの取り組みも評価の対象となつたのではないかと思います。しかし当然のことながら、桐生市議会が積極的に議会改革に取り組む理由は順位を上げることが目的ではなく、市民の皆様のために進める改革であるという、その姿勢が評価された結果であると理解しております。今後も、より良い桐生市議会の実現に向けて、議会一丸となって頑張ります。

「議会改革度調査 2018」全体ランキング TOP10

順位	市議会名
1位	北海道 芽室町議会
2位	滋賀県 大津市議会
3位	三重県 四日市市議会
4位	愛知県 岩倉市議会
5位	石川県 加賀市議会
6位	群馬県 桐生市議会
7位	福島県 会津若松市議会
8位	東京都 町田市議会
9位	大阪府 堺市議会
10位	兵庫県 西脇市議会

調査：早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会



各種団体等とのまちづくり討論会